



## 2学期教育の重点 更なる教育活動の充実に向けて

令和7年度2学期の学校生活が始まりました。今年度の目標(各々の)を達成すべく、2学期を「完成期」と位置づけ、1学期の教育活動を振り返り、成果と課題、加えて変化する社会情勢を踏まえ、2学期の教育の重点事項をお示しいたします。

### 1 学期の成果と課題を携えて

1学期は日常の授業の充実(学力向上)を学校運営の中核に据え、道徳教育、及び応援クラスマッチや合唱コンクールにおける縦割りや学年・学級の集団活動を通し、豊かな心(豊かな情操の醸成)と確かな学力を育む取り組みを連動一体化させながら日々の教育活動を営んで参りました。また、幼保小中一貫教育にも力を入れ、児童・生徒、教員間の交流、合同の授業研究会や研修会の開催等、異学年交流の意義や発達段階における学びと育ちについて認識することができ、一貫教育を意識した指導、支援の在り方を学びました。

また、合唱コンクールを赤中祭から独立し、7月に1学期教育活動の集大成と位置づけ開催しました。日々の教育活動で培われた自立の力は、学年・学級における合唱、そして、個々の歌声として表現され、赤中生の想いと成長の証がシェルターなんようホールに響き渡りました。生徒会5本柱の一つである「歌声」を年間通して「響かせよう」という思いと、集団づくりと個々の成長を図るという面で大きな成果が得られました。

一方で、生活・学習場面における思考力・判断力には課題があると感じました。生活場面では他者理解はじめ、自分の立ち位置以外から物事を捉え、自己指導能力を高めていく必要性を感じます。学習場面では、課題追究の視点を広げ、汎用的能力を高め確かな学力に繋げていく必要があると認識しています。指導、支援においては、それらの視点と能力に意図的に触れさせることを意識して参ります。

### VUCA 時代の到来 ～多様性の時代と子ども達の未来を見据え～

現代社会は、少子・高齢化、人口減少の加速、グローバル化の進展と国際情勢の不安定化、地球規模の気候変動、生成 AI の席卷、社会のつながりの希薄化、コロナ禍がもたらした価値観の変化等、先行き不透明で予測困難と言われます。

このような現代を象徴する表現が「VUCA(ブーカ)」です。VUCA とは、「変動的で不確実、複雑で曖昧」を意味し、目まぐるしく変化する予測困難な状態のことです。「Volatility(変動性)」「Uncertainty(不確実性)」「Complexity(複雑性)」「Ambiguity(曖昧性)」という 4つの英単語の頭文字を取った造語で、目まぐるしくかたちを変える現代社会を示しています。

VUCA 時代を踏まえ、未来を生きる子ども達は前例のない問題に直面したときに、「思考力」や「問題解決力」を養い、自分で解決していく力を身に付けなければなりません。複雑で不透明な時代(社会)を生き抜いていくために、さまざまな角度から物事を捉え新たな道を切り開いていく力が求められます。それは、VUCA 時代を踏まえた学校教育の新たな展開をも意味しています。

### 起業家精神(アントレプレナーシップ)を育む起業家教育の推進

産業構造及び就業構造の変化、グローバル化の進展、生成 AI の席卷等が進む中、社会的・職業的自立を促すキャリア教育の重要性が増しています。不透明な VUCA 時代に突入したことも踏まえ、起業家精神(アントレプレナーシップ)を育む起業家教育が重要視されています。

教育再生実行会議(第七次提言)においては、自ら企画し、高い志を持ち、多様な他者と協働しながら、新しい価値を生み出す主体性や創造性、起業家精神等、これからの時代に求められる資質・能力を育成するための教育活動を重視していくことの必要性が指摘されています。

起業家教育とは「起業家精神(アントレプレナーシップ)や起業に必要な知識、スキル、態度を育む教育プログラムやカリキュラム」のことですが、「起業家を育てる」だけではなく「社会に対して主体的に関わり変化を生み出せる人材を育てる」という意味も含まれます。学校で起業家教育を行った際に期待できる効果としては、社会情勢と自らの適性や興味と向き合うことで、進路選択に大いに生かせる点が考えられます。また、3年目を迎えた「南陽みらい議会」の取り組みは、正に起業家精神を育成する事業と私は捉えており、その経験は愛郷心・地域愛を育み、我がふるさとで活躍する人材育成に直結するものと感じています。

変化を生み出す力がかもめられる現代において、起業家教育は注目されており、変化に合わせるだけでなく、変化を起こすマインドが中高生の時から培われることで、主体的に社会に対してインパクトを与え、地域社会や経済にも良い影響をもたらすことが期待されます。

## 2学期の教育活動における重点事項

前述の内容を踏まえ、2学期の教育の重点事項を整理しました。教育活動全般にわたり、「教育は人なり」「師弟同行」の信条を大切に、校是「自主・自立」のあくなき追求に取り組んで参ります。保護者の皆様、並びに地域の皆様方のご理解とご協力を引き続き宜しくお願い致します。

### (1) 豊かな情操の醸成

子ども達の資質・能力を育む基盤(ベース)であり、全ての教育活動、手立て(手法)の土台を成すものが個々の豊かな情操と考えます。これまで同様、日々の教育活動における他者との関わり、道徳教育、縦割りや集団活動等を通し、心を耕し豊かな情操の醸成に努めて参ります。

また、個々の豊かな心は、学校生活において心理的安全性を構築するとともに、いじめや問題行動の抑止にもつながります。集団生活を通し規範意識と所属意識を高めるとともに、個性や多様性を認め合い、安心安全な学校生活を築いて参ります。

### (2) 授業を中核とした学校運営の推進

引き続き、授業を中核とした学校運営を推進し、確かな学力を育む授業改善に取り組みます。授業は生徒と教員が共に協力して創り上げるものという考えのもと、教える側、学ぶ側の責任を自覚しつつ授業を構築します。「心と学力を育むアンケート」を学期毎に実施し、教員は生徒の声を真摯に受け止め授業改善に努めます。また、個々の状況、実態を的確に「みとる」ことに力点をおき、個に応じた最適な指導、支援を講じて参ります。

### (3) 社会参画活動の深化

地域の特色、強みを生かした社会参画活動を通して、学校教育では体得が難しい資質・能力、精神を育成して参ります。特に2学期は、赤湯温泉ふるさと祭り、全校ボランティア「リボン」への活動要請、赤湯・中川地区の公民館事業等、地域の一員として自覚を高める機会に恵まれます。それぞれの取り組みについて価値付けし、貴重な体験を通し、自らの力で地域振興・発展に貢献する精神と愛郷心を育て参ります。

### (4) より良いあり方生き方を考える進路学習の充実(起業家精神の育成)

総合的な学習の時間や特別活動を活用し、将来を見据え広く職業観、勤労観について理解を深め、自らの進路選択への意欲を高めます。また、学年毎に進路を見据えた学年行事やPTA行事が企画され、趣向を凝らした内容が準備されています。将来の自分像を描き、目標を確認するとともに、将来に向け今何をすべきかを認識する良い機会です。より良いあり方生き方を考えると同時に、起業家精神を育成する視点も取り入れ、現代社会と未来を見据えた学びを深めます。同時に我がふるさとの良さ、財産に気付き、地域社会の発展に寄与する意識と愛郷心を育て参ります。